

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

川上村立川上小学校 指導者 川崎 貴寛

1. 単元名

ダムカレーから学ぶ「水源地の森」

2. 単元の目標

- ・きれいな川の水を流すために森林の果たす役割について知り、水源地の森を守るための活動や川上宣言に込められた願いについて理解する。(知識・技能)
- ・森林が行う自然の循環について考え、なぜ川上村が水源地の森を購入したり川上宣言をつくったりしたのか考える。(思考・判断・表現)
- ・森林の働きや水源地の森、川上宣言に携わる人の思いにふれて水源地の森の保全やきれいな水を流すために自分達にできることを考える。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(教材観)

本単元では川上村がPRしているダムカレーを教材化することで学習が始まり、水源地の森の役割や川上宣言の内容について学習を進めていく。このダムカレーは、「大滝ダム」「大迫ダム」そして「緑のダム」である水源地の森を表現している。この水源地の森がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのかについて考え、水源地の森が果たす役割について知ったり川上宣言に込められた思いについて考えたりすることで持続可能な社会へ参画する力を育成できると考えた。その理由は2つある。1つめは自分達が生活する川上村には、きれいな川の水を流すために重要な水源地の森がある。そのことを知ることから川上村で生活する自分達がこの水源地の森を守るという責任感を育てられるからである。2つめは川上村が水源地の森を購入したり川上宣言をつくったりする行動について考えることで川上村がきれいな水を下流に流すためにしている行動について知る。その素晴らしさをもっと多くの人に知ってもらい協力してもらいたいという考え方が育成できるからである。

(児童観)

本学級の児童は、1学期から森林の役割について学習し、吉野杉の特徴や林業の仕事内容などに

ついて学習した。また、ゲストティーチャーとして林業に携わる梶本さんを招いて森林の役割について学習した。森林が光合成によって二酸化炭素を吸収し酸素をはき出すことや地球表面の土壌を守る働きについて理解した。児童達は学習の最初から意欲が高く、進んで森林の役割について理解しようとし、わからないことがあれば進んで質問したり調べたりする姿が見られた。また、2学期末にある総合的な学習の時間の学習発表会に向けてさらに意欲を高めている。今までの学習から2学期での学習も意欲的に取り組むことが予想される。

(指導観)

本単元では川上村のダムカレーを教材として水源地の森や川上宣言について学習を進めることから、これからの川上村を担う子ども達にとって非常に貴重な学習になると考える。水源地の森に携わる方や川上宣言をつくることに関わった方に出会い、その思いに触れることにより「自分たちの地域は、自分たちで守っていく。」という郷土に対する思いを育成させることにつなげていく。川上村に生活する自分たちが進んで源流の森を守ったりきれいな水を流したりするための具体的な行動を率先して行おうとするリーダーシップや、周りの人たちと協力しようとする協調性を育み、これからの持続可能な社会に参画する力を育てたい。

(SDGsへの貢献)

- 6：安全な水とトイレを世界中に
- 12：つくる責任つかう責任
- 14：海の豊かさを守ろう
- 15：陸の豊かさも守ろう
- 17：パートナーシップで目標を達成しよう

4. 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① きれいな川の水を流すために森林の果たす役割について理解する。	① 森林が行う自然の循環について考え、なぜ川上村が水源地の森を購入したり川上宣言を作ったりしたのか考える。	① 森林の働きや水源地の森、川上宣言に携わる人の思いにふれて水源地の森の保全のために自分たちにできることを考える。
② 水源地の森を守るための活動や川上宣言に込められた思いについて理解する。		

4 聞き取り	・川上宣言をつくることに携わった方を招いて、川上宣言に込められた思いを聞き取る。	・川上村がきれいな水を流すために水源地の森や川上宣言を作ったことから、川上村が源流の村としての自覚のもと、率先して行動してきたことを理解させる。	◇ア②
5	・水源地の森が果たす役割や川上宣言に込められた思いを知り、きれいな水を流すために自分たちにできることを考える。	・自分たちが具体的にできることと周りの人たちに協力してもらうことについて考えさせる。 ・ <u>行政以外にも村民が取り組んでいることを聞き取り調査する。(家庭学習)</u>	◇ウ①
6	・聞き取りをもとに自分たちにできる取り組みを、周りの人にどのように知ってもらうか考える。	・学習発表会で学習したことを伝えようと意欲を高めさせる。 ・自分たちが作ったブロッコリーをダムカレーに入れて源流の森のことを広められるように話し合う。	◇ウ①
7	・役場の方、ダムカレーを出している店の方を招いて自分たちが作ったブロッコリーをダムカレーに入れてもらうことを提案する。	・以下の3つを検討する。 ① 学習発表会で自分たちが作ったブロッコリーを入れたダムカレーの販売開始を発表すること ② ポスターを作って宣伝すること ③ 売り上げの一部を源流の森の保全に充てること	◇ウ①

5. 単元展開の概要（全5時間）

時	主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1	ダムカレーが表現している3つのダムについて考え、緑のダムの存在を知る。	- 川上村のダムカレーがなぜこのような形をしているのか考えさせる。 - 森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのかについて考え、森林の果たす役割について考えさせる。	◇ア①
学習課題： 森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのだろうか。			
2	森林がどのようにダムの働きをしているのかを考える。（インターネットや関連書籍で調べる）	- ダムの働きから森林がどのような役割をしているのかについて考えさせる。 - ダムの働きをしている森林がどのような場所か考えさせ、水源地の森に興味を持たせる。 - なぜ川上村が水源地の森を購入したのか疑問を持たせる	◇ア①
学習課題： 川上村はなぜ水源地の森を購入したのか。			
3 見学	- 水源地の森を見学し、森林の役割について学ぶ。 - 川上村が水源地の森を購入した理由を知る。	- 実際に見学して源流の森の様子を確認させる。 ① 石の大きさ ② 生き物の様子 ③ 木の大きさ ④ 緑の多さ - これまで考えたことや調べたことが正しかったかを確認させる。 - 川上村が水源地の森を購入した理由を知り、水源地の森が特別なものと言うことを確認させる。 - 水源地の森を守るための川上村の行動以外にも川上宣言の内容にも興味を持たせる。	◇イ①

6・本時の学習

(1) 本時の目標

ダムカレーの盛りつけから森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのか考える。

(2) 本時の評価規準

きれいな川の水を流すために森林の果たす役割について理解する。(ア 知識・技能 ①)

(3) 学習展開の概要 (1 時間目)

主な学習活動	学習への支援	◇評価 ・ 備考
1 川上村と他の地域のダムカレーを見比べてダムの数に注目する。	・ 大滝ダムと大迫ダム以外にもう 1 つダムがあることに気づかせる。	◇ア①
2 カレーの盛りつけ方から森林をイメージし、緑のダムの存在を知る。	・ 森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのかについて考え、森林の果たす役割について考えさせる。	
学習課題： 森林がなぜ「緑のダム」と呼ばれるのだろうか。		
3 森林がどのようにダムの働きをしているか興味を持つ。	・ これからの学習を主体的に取り組めるように自由に疑問や興味を出し合わせる。	

日本社会が抱える課題は？

人口減少，少子高齢化，外交
米軍基地，災害，異常気象 等

日本や県，川上村の人口減少

奈良は全国的に見ても課題が
大きいんだね。（全国 5/10）

人口減少率日本一の川上村は、
いったいどんな村なのだろう

人口減少によって、どのよ
うな影響があるのだろう。

川上村では、何か対策をし
ていないのかな。

川上村に住む子どもの数(増)

人口減少日本一の
村なのに、なぜ!?

きっと、村が何かを
仕掛けているんだよ

子育て支援のポスター（日本一子育てがしやすい村？）

→やまぶき園の開設（住民の願い）

人々の願いは、政治の働きによって、どのように実現されるのだろう？

【川上村：子育て支援センターの拠点やまぶき園】

- ・どんな活動をしているのか？なぜ開設されたのか？（園長からの聞き取り）※住民の願い
- ・園が人々の生活に与える影響（利用者からの聞き取り）
- ・園が開設されるまでの様子（住民福祉課職員からの聞き取り）※議会・予算
- ・園の運営 ※税金の働き→国との協力関係（財政や制度による国や政府からの支援）

住民の願いを叶
えるために開設
されたんだ。

開設に向けて議会で
決定したり、予算を
つけたりしたんだね

国は地方の主体的な政
治を、財政や制度面で支
えているね。税金の働き

④やまぶき園ができるまでの流れをフローチャートにあらわす

【大和郡山市】

- ・大和郡山市の抱える課題について保護者にインタビュー→学級で共有・整理
- ・整理したものを基にして、市役所の方に話を聞く→大和郡山市の抱える課題を教えてもらう
- ・課題別に調べ学習を行う（市政要覧ジュニア版などがあれば Good）
- ・調べたことを基にして各課へインタビュー。→川上村の学習で働かせた見方・考え方を生かす。

人々の願いは、政治の働きによって、どのように実現されるのだろう？

川上村と大和郡山市の事例を比較する。→ベン図（共通点・相違点）

住民の願いが
反映されてるね。

地域の実態に応じて
政策が決まるんだね

政治は国民生活と
密接に関わってるね

政治が国民生活の安定
と向上を図ってるね

これから私たちは、政治とどのように関わっていくべきだろう？

僕たちの願いも生かせないかな

主体的に政治に関わっていきたいな

第五学年 国語科指導案

奈良市立平城小学校

5年1組 新宮 済

1. 単元名 資料を生かして考えたことを書こう (東京書籍)

2. 単元の目標

- ・地域の森林環境に関する資料から情報を読み取り、読み取った情報を基にポスターを完成させようとしている。

(関心・意欲・態度)

- ・資料を読み取る観点を考え、資料から情報を読み取り、整理できる。
- ・事実感想、意見などの違いを意識し、目的や意図に応じてこれらを簡単に書いたりできる。
- ・引用したり、図表やグラフなどを、用いたりして考えが伝わるように書くことができる。

(書く力)

- ・文や文章の様々な構成について理解し、文章やポスターを完成することができる。

(国語の特質に関する事項)

4. 単元について

本単元では様々な資料から読み取った情報を活用して、よりよい地域社会をつくるためのポスターを作成する活動を通して、資料から情報を読み取り、引用したり用いたりして文章を書く力を身につけることをねらいとしている。「これからの森林環境について、資料から読み取った情報を活用して、未来(持続可能な社会)につながる自分の考えを伝えるポスターを作ろう」という言語活動を設定し、社会の時間に調べて分かったことや伝えたい自分の考えを表現し発信させる。効果的に相手に伝えるために、読み取った情報を目的に合わせて活用して、表現できるようにする。また児童との交流だけでなく、実際にポスターを作っている方との交流や評価をしてもらう活動を通じて、資料を活用して表現する方法について、考えを広げたり深めさせたい。

【主体的な学び】

- ・地域の課題解決するという目的意識を持って、他教科の学習や日常生活と関連した資料から情報を読み取り、引用したり用いたりしてポスターを作成するという言語活動を設定する。
- ・資料を活用して、自分の考えや、地域の現状を伝えるという目的意識を持たせる。

【対話的な学び】

- ・互いの考えのよさや、互いの表現の違いに気づいたりできるように、書いたものをペアやグループで交流し、協力してポスターを作成する活動を設定する。

【深い学び】

社会科の学習との関連を図り教科書で学習したことを基にこれからの森林環境について、資料から読み取った情報を活用して、未来(持続可能な社会)につながる自分の考えを伝えるポスターを完成させる。

5. 単元計画

学習内容 ○めあて	●留意点 ・児童の反応
○経験した学びをポスターにしよう ・資料が活用されているポスターを複数提示し、ポスターから分かることや、伝わってきたことについて意見を述べ合う。 ・学習課題を作る。	●言葉を用いて社会に発信する方法として、ポスターがあること、自分の考えなどや情報を効果的に相手に伝えることができることに気付かせる。
これからの森林環境について、資料から読み取った情報を活用して、未来(持続可能な社会)につながる自分の考えを伝えるポスターを作ろう。	
○学習の見通しをもとう ・学習計画を立てる。 ○資料から読み取った情報をもとに、文章を書いてみよう ①p98～99 ・「資料を読み取る」観点と「資料を活用する」観点についてまとめる。 ○資料から読み取った情報をもとに、文章を書いてみよう②p100～101 ○資料から読み取った情報をもとに、文章を書いてみよう③p102～103 ○森林環境のポスターをつくろう。 ○ポスターを紹介して、プロの方から評価をもらおう。	●教科書の学び方を参考にしながら課題解決のために必要なことを考えさせる。 森の役割をみんなに伝えるポスターを作る (材料等) ・ 林業白書 ① 人工林の役割 ② 世界の森林の役割 森林の役割 もったいない、もて前に 尾上忠大氏 ← 現状 ESD なポスター制作にかかめる。 プロの視点.. *特にキャッチーなタイトル、 国語では基本のタイトル作りを学ぶ。 でも尾上さんかイロでこうなる!! 解いてみる
指導要領「先哲から学ぶ」にピッタリだ!!	8月県国研 県大会に向けての指導員会議。

『紀の川じるしのESD』のテーマソング

水の旅のはなしより

詞：尾上忠大（森と水の源流館）

曲：松谷文美

おい・し・い・ね
このお米

どうして
つくって
いるのかな？

おいしー♡

農家さん 心をこめて
そだててるから
できるんだ

水が
なければ
どうなる
の？

でもは・て・な？

むかし すくない雨
こまっていた奈良ぼんち
夢がかなった
よしのがわぶんすいのおかげで
森からの水 ダムへとたまり
川をくだって

田んぼにとどいた
山をもこえて

どこから
やってくるのかな？

じょうすい場
ダムにポンプに..
どれもあるから
とどくんだ

でもは・て・な？

水は
どこから
はじまるの？

それは山のむこう すいげんの森から
おち葉や根っこ 小さな生き物たちのおかげで
雨をたくわえ
やがて生まれる
はじめの一てき

いのちの森から
川がはじまる

おい・し・い・ね
お魚も

どうしてとれなく
ならないの？

漁師さん
海をあいして
とっているから
つづくんだ

でもは・て・な？

海にも川が
そそいでる！
とおい 森から里
田んぼ旅した水
そこでであった
命と力 たくわえながら
やがて海へと
ながれでてゆく

ゆたかな海は
つながってるんだ
ゆたかな森と

つながってるんだ
ぼくたちと ♪

水の旅のはなし

詞／尾上 忠大

曲／松谷 文美

1.

お・い・し・い・ね このお水
どこからやってくるのかな？
じょうすい場 ダムにポンプに・・
どれもあるから とどくんだ
でも は・て・な
水はどこから はじまるの？
それは 山の向こう すいげんの森から
おち葉や根っこ 小さな生き物たちのおかげで
雨をたくわえ やがて生まれる はじめの一てき
いのちの森から 川がはじまる

2.

お・い・し・い・ね このお米
どうしてつくっているのかな？
農家さん 心をこめて
そだててるから できるんだ
でも は・て・な
水がなければ どうなるの？
むかし すくない雨 こまっていた奈良ほんち
夢がかなった よしのがわぶんすいのおかげで
森からの水 ダムへとたまり 川をくだって
田んぼにとどいた 山をもこえて

3.

お・い・し・い・ね お魚も
どうしてとれなくなるの？
漁師さん 海をあいして
とっているから つづくんだ
でも は・て・な
海にも川が そそいでる！
とおい 森から里 田んぼ旅した水
そこでであった 命と力たくわえながら
やがて海へと ながれてゆく ゆたかな海は
つながってるんだ ゆたかな森と

つながってるんだ ぼくたちと